



夷隅の森の子どもたち



文責 磯野 洋之

二学期がスタートしました

いつもより長い夏休みが終わり、9月1日から学校に子供たちの声が戻ってきました。

今年の夏は、台風の発生が多く8月13日には千葉県に線状降水帯が発生し大きな被害も出ました。また、以前は気温により夏日・真夏日・猛暑日という呼び名がありましたが今年から新たに酷暑日（40℃～）が加わりました。物事に変化があると必ず対応・対策があります。そして私たちは、どこがどう変わったのか変化に気づくことが大切です。以前、話したと思いますがチャンスは掴むものではなく気づくものです。変化も同様です。

変化の一例をあげます。9月1日から道路交通法が改正され車幅が狭くセンターラインのない道路の制限速度が時速30キロに規制されます。小学生には、安全材料が一つ増えた形になります。車を運転する、お父さん・お母さん・ご家族の方・地域の方ご協力をお願いします。

また、気づいた方はまだ少ないと思いますが本校の敷地内に新たに登下校用の歩行用通路ができました。これはCS（コミュニティースクール）会議で子供の登下校の安全のためにとの提案があり目羅組さんが迅速に協力してくださり完成したものです。2日より安全確認をしながら運用を始めますのでご理解をお願いします。



お金の大切さ！



突然ですが、お子様の1ヶ月のお小遣いは、どのくらいですか、定期・不定期や金額の違いは、それぞれあると思います。

なぜこのような話をするのかという理由は、将来犯罪に巻き込まれないための練習・経験でもあるかもしれないからです。決まった金額で1ヶ月どのように過ごすか、時には、小遣いでは足りず交渉することで、金銭感覚を身につけます。

また、将来アルバイトを経験すれば、時給は〇円だから1週間で〇万円、1ヶ月では〇万円、これをどう使うか貯めるかとなりお金の大切さが身につきます。楽な仕事で1日〇〇万円（ホワイト案件）など絶対にあり得ないと気づきます。学警連という警察と学校の会議でも高校生や中学生がSNSを通じて事件に巻き込まれていると警告しています。お小遣いには、お金の大切さ、ありがたさを学ぶという意味が含まれています。えっ、お父さんも小遣い制ですか？…。

夏休みの思い出



どのような夏休みでしたか？家族旅行・帰省・趣味に没頭・宿題に追われる・習い事に集中・読書に夢中・ゲーム三昧・映画三昧・大会に参加など人それぞれの夏休みであったと思います。

私も今思えば、必ず父親が蓮沼海浜公園のプールに連れて行ってくれたのを思い出します。理由はわかりませんがとにかく楽しかったことは確かです。宿題も余裕を持って終わらせたというよりは、なんとか形だけは終わらせたとの思いが強いです。6年生の時は姉に泣きつき手伝ってもらったことを担任の〇先生は一瞬で見抜き「字を見ればわかる、これはあなたの文字ではない！」と一喝でした…反省。言いたいのは、登校を渋る選択肢はありませんでした。自分も家族もそして担任も「すべてわかっていた」からです。普段から話をし、観察して、声をかけていれば取り返しのつかない状況には至らないということです。話したいときに話を聞いてくれる。見てほしいときに見守ってくれる。失敗したときに叱ってくれる。そしてなんとなく進む方向を照らしてくれる。お願いします。

